

議 事 録

会 議 名	令和８年度第１回山都町地域公共交通会議
開催日時	令和８年７月２４日（金） １０：００～１１：２０
開催場所	矢部保健福祉センター千寿苑
出席者	別紙のとおり

１．報告事項

（１）前年度の運行実績等について【資料１】

（谷口委員・熊本運輸支局）

- ・コミュニティバス浜町馬見原線について、高校生が利用しているという事で、１便目は１便当たり７．８人の利用があるがその他の便は１便当たり２名程度となっている。コミュニティバスをして登校した高校生は、帰りもバスを使うのではないかと想像するところだが、帰りはバスを利用していないという事なのか。

→（事務局）

- ・浜町馬見原線の時刻を設定する際に矢部高校とも相談して設定した経緯があり、全ての高校生に対応できるよう、最終便を部活後の時刻で１８：３０に設定した。その後熊本バスの通潤山荘線との接続も考慮し、１８：４５としたが、その時間が遅く、保護者が迎えに来られているという事が考えられる。それより前の便は、乗合タクシーとの接続を考慮した時刻設定となっているため、その時間では高校生にとっては早すぎる。これ以上便が増えてしまうと町の負担も増えてくるので非常に難しいところ。

→（谷口委員・熊本運輸支局）

- ・通潤山荘線との接続もあり、難しいところではあると思うが、帰りも高校生に利用してもらうことで利用率も高まっていくので、矢部高校、熊本バスと可能な限り連携して検討して欲しい。

・その他意見等なし

（２）国宝とまちなかを巡る回遊サービス実証運行事業について【資料２】

（佐々木委員・県バス協会）

- ・周知広報については、もっと広く広報するため、国土交通省や熊本県にも協力を仰いでみてほしい。

→（事務局）

- ・承知した。ぜひご協力いただければありがたい。

(佐々木委員・県バス協会)

- ・道の駅通潤橋に自家用車で来訪し、駐車してサービスを利用されるケースもあるのではないかと想定されるが、そうなれば駐車スペースの問題も出てくる。この辺の想定はいかがか。

→ (事務局)

- ・基本的には、高速バスで来訪いただいた方の通潤橋までの足という所がこのサービスを検討するうえでスタート地点だった。しかし、御指摘の通り道の駅に駐車してサービスを利用されるという可能性も大いにある。駐車スペースの問題については我々も懸念しているところである。

(佐々木委員・県バス協会)

- ・実証していく中でサービスを利用される方の駐車場を設定するなど、必要に応じて対応してほしい。

→ (事務局)

- ・承知した。臨機応変に対応したい。

(谷口委員・熊本運輸支局)

- ・効果検証の部分について、今回の実証運行によって既存の公共交通がどのような影響を受けるかという所が一番気になるところ。今回の検証項目の中にもバス・タクシー事業者へのヒアリングと記載があるが、ヒアリングの他にも、実証運行期間中の利用状況等を把握し、利用状況がどのように変化したのか等も検証項目として検討いただきたい。

→ (事務局)

- ・承知した。検証項目に追加できるよう、効果検証を委託する事業者にも相談したい。

・その他意見等なし

2. 議事事項

(1) 市町村福祉輸送の更新について【資料3】

・意見等なし、全会一致で承認

(2) 既存路線のダウンサイジングに向けた取組みについて【資料4】

(渡辺委員・第一タクシー)

- ・桜町 BT～通潤山荘の大型バスでの運行は通常どおり運行を続けながら、

御船恐竜博物館～通潤山荘間のダウンサイジングでの運行をするという事で、御船恐竜博物館～通潤山荘間の便数は増えるという認識で間違いないか。

→（荒木委員・熊本バス）

・お見込みのとおり

（佐々木委員・県バス協会）

・業務委託をされる麻生交通の運賃機能というか、運賃の表示はどのようなになっているか。

→（荒木委員・熊本バス）

・通常の路線バスとなるので、熊本バスの車両と同様、ドライバー側に運賃表示器を設置するという事になる。

（谷口委員・熊本運輸支局）

- ・今回の事業は道路運送法に基づく管理受委託の手続きを行われることになる。管理受委託とは、あくまで熊本バスが運行し、運行管理と運行業務を麻生交通が担うというスキームになる。このようなスキームの場合事業許可手続きが必要となるため、運輸支局の方に手続きをしていただくことになる。運行主体は熊本バスとなるので、運賃は熊本バスの運賃をそのまま利用されるということになる。
- ・おそらくダウンサイジングした車両を購入するという事だと思うが、車両はどのようなものになるか。また、どのようなダイヤで運行されるか、分かれば御教示いただきたい。

→（荒木委員・熊本バス）

・車両については日野自動車のポンチョという小型の乗合バスを購入予定で定員は34名である。ダイヤについては、御船発 10:05 15:20 通潤山荘発 12:00 16:35 の二往復を予定している。

（仁田原委員・矢部高校）

・実証運行後のイメージを御教示いただきたい。

→（荒木委員・熊本バス）

・運転手の高齢化により、長距離運行・大型車両の運行というものが難しくなっている状況。路線の再編、車両のダウンサイジング化によりこれらの課題を解決していきたいと考えている。

（仁田原委員・矢部高校）

・将来的には、乗継を前提として、山都町～御船町間は、ダウンサイジング

グ下車両で運行し、便数を増やすという理解でいいか。

→（荒木委員・熊本バス）

- ・熊本市中心部と直接結ぶのは便数を増やすことは難しいが、乗継可能な所まで運行し、便数を増やせるようにしていきたい。

・その他意見等なし、全会一致で承認

3. その他

・特になし